



平成 26 年 10 月 10 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コード 3 8 0 7)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之
電 話 番 号 0 3 (5 7 7 4) 2 4 4 0 (代 表)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 12 月期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)の通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 26 年 12 月期通期連結業績予想の数値の修正(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	12,407	1,306	1,302	755	21.60
今回修正予想 (B)	8,539	375	603	408	11.52
増減額 (B-A)	△3,867	△931	△698	△346	
増減率 (%)	△31.2	△71.3	△53.6	△45.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	6,681	354	580	558	16.06

- (注) 1. 1株当たり当期純利益につきましては、平成 26 年 7 月 1 日付の株式分割を考慮して算出しております。
2. 上記業績予想数値はみずほ銀行公表の平成 26 年 10 月 10 日の公示為替レート仲値 (107.78 円/ドル) を前提としております。

(修正の理由)

売上高につきましては、当初計画に対して 3,867 百万円減少の 8,539 百万円となる見込みです。売上総利益額の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに計画を大きく下回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正いたします。

業績修正の主な要因は以下のとおりです。

情報サービス事業、コンサルティング事業、インターネット旅行事業につきましては、概ね計画通り堅調に推移しております。

しかしながら、本日公表の「子会社における業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のと

おり、当社グループの主力セグメントであるデバイス事業におきまして、既存製品の粗利率の低い製品の今期販売を中止したこと、今期販売を開始した新製品及び受託開発製品において顧客からの要望による仕様変更が発生したため、開発期間の延長にともない、一部の製品の納品が来期以降にずれ込みこととなりました。その結果、同セグメントにおきまして、売上高が大幅に減少する見込みとなりました。

広告代理業は、既存の取引先の解約の影響もあり、利益率が高い新規取引顧客の獲得に比重を置いて事業構造の転換を図っております。しかしながら、新規顧客の獲得には一定の時間を要することから、当初の売上高を確保することが困難な見込みとなりました。

また当初予算策定時点におきましては、M&Aによる売上高として株式会社ジェネラルソリューションズの連結子会社化等による1,500百万円見込んでおりましたが、連結子会社化の時期が計画よりずれ込んだことなどから、売上高が当初計画より1,000百万円減少の見込みとなりました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、今般の売上減少にともなう、さらなる仕入原価削減、役員報酬カット、販売管理費削減および決算期末時点のドル・円為替相場により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上